

## 南アフリカ 生食用ブドウの輸出予測が増加

EUROFRUIT 2024年1月29日

### 南アフリカのブドウ業界はオレンジ川地域の収穫量の増加に牽引された輸出量の回復を歓迎

主要な早生の輸出地域の1つで予想を上回ったことから、南アフリカの生食用ブドウの輸出予測は増加した。業界団体のサティ(SATI)は、総輸出量が約7,600万箱近くに達する可能性が高いとし、この新しい予測は昨年と比較して大幅な増加を示すものであり、喜ばしい進展であるとしている。(以下「」は同団体の見解)

「2023/24年度シーズンの改訂出荷予測は、2023年9月29日に発表されたシーズン当初の出荷予測から3.8%増加し、これは前シーズンの実際の出荷量から16%の増加となる。この増加は、オレンジ川地域の出荷量が想定されたよりも多いためである。」

同団体によると、オレンジ川地域での梱包は完了に近づいており、現在の予測は約2,390万箱の最終検査数量を示唆している。「これはオレンジ川地域の当初の見積もりである2,110万箱を上回っており、そのため全国計の検査量が上方修正されることになる。」

同団体は北部地域での梱包も完了が近いとしているが、推定検査数量は580万箱で変更がない。「同様に、西ケープ州の3つの地域(オリファンツ川流域、ベルク川流域、ヘックス川流域の各地域)は当初の予想どおりで、梱包は順調に進んでいる。」予想される出荷量は、オリファンツ川地域340万箱、ベルク川地域1,910万箱、ヘックス川地域2,350万箱である。

南アフリカ全体で合計7,580万箱の改訂出荷予測は、前シーズンに輸出用に検査された6,520万箱から回復した生食用ブドウ出荷量の健全な増加を示している。

SATIは、これは南アフリカの生食用ブドウ業界にとって良い兆しであり、信頼できる重要なサプライヤーとして引き続き高品質ブドウを国際市場に供給し続ける能力を示すものであるとしている。

執筆者: フレッド・メインチェス

## メキシコ 2023年産のベリー輸出が12%増加

FreshPlaza 2024年1月29日

メキシコの2023年のベリー輸出額は26億5,300万ドルと前年比で4.8%の顕著な成長率を示し、数量では29万5,600トンと7.2%増加した。ブルーベリーはメキシコのベリー輸出の重要な構成要素であり、米国農務省(USDA)の予測によると、2024年の生産量は2023年に比べて8%増の8万1千トンとされている。この成長は、十分な水へのアクセスと輸出需要の高まりに起因している。しかし、USDAは、ペルーとの競争により、2024年の成長率が鈍化すると予想している。

2023年のメキシコのブルーベリー生産量は約7万4,800トンに達し、生産技術の革新と旺盛な輸出需要に支えられ、前年比12%増となった。2022年のブルーベリーの輸出量は7万1,509トンで、2021年よりわずかに減少した。一方、2022年の輸入量は前年比10%減の1万3,715トンであった。米国は依然としてメキシコの主要なブルーベリー輸出市場であり、輸出の約97%を占めている。

ブルーベリーには栄養上の利点があるにもかかわらず、メキシコの1人当たりの年間消費量は国立統計地理情報院によるとわずか70グラムに過ぎない。この限られた消費量は、最近の価格上昇と相まって、類似の果実と比較してブルーベリーの価格が比較的高いことに起因している。さらに、消費者の嗜好と伝統的なメキシコ料理にブルーベリーが含まれていないことも、ブルーベリーの消費量が制限される一因となっている。ブルーベリーは主にジャム、ゼリー、スムージーに用いられ、時には丸ごとの果実として消費されることもある。

出典: [blueberriesconsulting.com](https://blueberriesconsulting.com)